

第1日目 10月2日 (土) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈都市・社会〉	〈景観・観光〉
13:00	101 大平晃久(東海学院大): 負の記憶と記念碑ー沖縄本島中南部の米軍基地跡地	201 杉本興運(首都大・院): 都市公園における景観資源の空間構造ー井の頭恩賜公園を事例として
13:20	102 加茂浩靖(日本福祉大): 那覇市の介護サービス業に従事する女性の仕事と生活	202 泉 留維*(専修大)・平野悠一郎(森林総合研): 近年の日本のフットパス事業をめぐる関係構造について
13:40	103 久保倫子(筑波大・学振DC)ほか: 沖縄県におけるひとり親世帯の就業・保育・住宅問題	203 齊藤由香(金城学院大): スペイン・カタルーニャ自治州における新たな景観政策の実践ーカタルーニャ景観観測院の取り組みを中心に
14:00	104 由井義通(広島大)ほか: 沖縄県那覇市と浦添市における学童保育の地域的展開	204 白柳かさね(首都大・院): 宮城県石巻市田代島における猫ブームにともなう観光発展
14:20	105 久木元美琴*(東京大・学術研究員)・若林芳樹(首都大): 沖縄県浦添市における学童保育をめぐる政治過程	205 和田 崇(徳山大): アニメキャラクターを活用した観光まちづくりー鳥取県を事例に
14:40	106 若林芳樹(首都大)ほか: 沖縄県浦添市における学童クラブ利用者の保育サービス利用実態	206 北田晃司(中大大・非): 沖縄県における観光の国際化と課題
		〈都市・産業〉
15:00	107 山内昌和(国立社会保障・人口問題研)ほか: 沖縄県の夫婦出生力における家族形成規範と理想子ども数の影響ー沖縄県南部の都市的地域と農村的地域の調査をもとに	207 岩間信之(茨城キリスト教大)ほか: 大都市圏郊外の住宅団地におけるフードデザート問題の拡大と地域コミュニティの関係ー東京都板橋区高島平団地の事例
15:20	108 北島晴美*(信州大)・太田節子(信州医療福祉専門学校): 新潟県における二次医療圏別標準化死亡比の地域差	208 新井智一(埼玉大): 東京都小金井市における新ごみ処理場建設場所をめぐる問題
15:40	109 林 泰正(中部大・学)ほか: 三重県伊勢市をめぐる観光バスの動向	209 末田智樹(中部大): 大阪の百貨店業の成立による商業空間の発展ー昭和戦前期における東京の百貨店業との比較において
16:00	110 佐藤英人*(帝京大)・清水千弘(麗澤大): 東京都圏における持家取得者の住居移動ー大規模アンケート調査による分析から	210 古川智史(早稲田大・院): 広告産業における都心集中の検討ー広告制作会社の経営者とクリエイターの視点を通じて
16:20	111 国府田 諭(社会構想研・客員研究員): PTALマッピングを用いた公共交通空白地域の分析	211 福井一喜(法政大・学): 新聞広告の趨勢と地理的ターゲットニングの効用
16:40	112 山田浩久(山形大): 土地の所有関係に起因する地方都市の問題点ー山形県長井市を事例にして	212 與倉 豊(東京大): 地方開催型見本市における企業・組織間の関係構築ー諏訪圏工業メッセを事例として
17:00		

第1日目 10月2日 (土) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈海外研究(都市)〉</p> <p>301 堤 純(愛媛大):メルボルン大都市圏における通勤特性</p> <p>302 遠藤幸子(川村学園女子大):ドイツの軍事都市における都市開発</p> <p>303 菊池慶之(日本不動産研究所)ほか:上海市における居住用「商品房」の展開</p> <p>〈海外研究(農業・土地利用)〉</p> <p>304 白坂 蕃(帝京大)ほか:中国雲南省最北部における西藏族によるヤク(<i>Boss grunniens</i>)の移牧</p> <p>305 張 貴民(愛媛大)ほか:雲南省の少数民族地域にみる生業の変化—新平県南碱村を事例に</p> <p>306 境田清隆(東北大)ほか:中国内モンゴにおける砂塵暴の発生とその気候条件(続報)</p> <p>307 大月義徳(東北大)ほか:中国内モンゴ西部, 烏蘭布和沙漠東縁における地形変化と沙地移動</p> <p>308 関根良平(東北大)ほか:中国内モンゴ西部, 烏蘭布和沙漠東縁における土地利用と農業経営—急拡大したヒマワリ栽培を中心に</p> <p>〈海外研究(アフリカ)〉</p> <p>309 井戸雄大(京大・学振DC):ジンバブウェ再入植地における入植者の保有地拡大</p> <p>310 藤岡悠一郎(京大・学振PD):ナミビア農牧社会における経済格差の拡大と自然資源利用の変化—資源の私的利用と共的利用の接合に注目して</p> <p>311 大和田美香(東北大・院):紛争復興・開発地域における労働市場と職業訓練—南部スーダン・ジュバを事例として</p>	<p>〈気候〉</p> <p>401 一ノ瀬俊明(国立環境研)ほか:アジアの7大都市における都市温暖化の数値シミュレーション</p> <p>402 中川清隆(立正大)ほか:2008年1月~2010年6月における埼玉県熊谷市の夜間都市ヒートアイランド強度と郊外接地逆転強度の関係</p> <p>403 日下博幸*(筑波大)・縄田恵子(筑波大・院):都市が降水に及ぼす影響調査—アンサンブル感度実験</p> <p>404 高橋日出男(首都大)ほか:2008年8月5日に東京都区部で発生した短時間強雨について—(2)冷氣外出流と気温分布</p> <p>405 立入 郁*(海洋研究開発機構)・篠田雅人(鳥取大):CMIP3データセットを用いたモンゴルにおける将来ゾンドリスク評価</p> <p>406 大和田春樹(アビームシステムズ):黄土高原の降水地域特性とその要因</p> <p>407 木村圭司*(北海道大)・篠田雅人(鳥取大):夏季のモンゴルにおける低気圧活動</p> <p>408 甲斐憲次(名古屋大)ほか:タクラマカン砂漠に浮遊するダスト総量の推定と気候への影響</p> <p>409 篠田雅人(鳥取大):気候メモリにもとづく黄砂発生の予測可能性—日蒙米共同プロジェクト DUVEX</p> <p>410 佐川正人(釧路高専)ほか:北海道釧路市に出現する霧の特徴</p> <p>411 石坂雅昭(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター):日本の積雪地域の積雪・気温・降水量関係からみる世界の積雪気候特性</p> <p>412 小泉和也*(日本大・院)・加藤央之(日本大):気候要素の変動パターンに基づく日本の気候区分</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第1日目 10月2日 (土) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈水文・GIS〉	
13:00	501 元木理寿*(常磐大)・萩原 豪(鹿児島大)：沖永良部島における水環境と水環境に対する認識の変化	シンポジウム S01 (公開) ジオパークと地域振興 (社)日本地理学会ジオパーク対応委員会
13:20	502 川村 壮*(北海道大・院)・橋本雄一(北海道大)：札幌市における都市開発と地質情報の時空間分析	開始時刻 13:00
13:40	503 東 善広(琵琶湖環境科学研究センター)：旧地形図からみた琵琶湖湖岸の変化	(趣旨説明) 13:00～13:20 S0101 菊地俊夫 (首都大)：ジオパークと地域振興
14:00	504 赤沢正晃(日本大・院)：地図作製のデジタル化にともなうGISソフトの現状と展開	(第I部) 世界遺産とジオパークと地域振興 座長：菊地俊夫・目代邦康(自然保護助成基金) 招待講演 S0102 13:20～14:10 土居利光(多摩動物公園)：自然資源の保全と適正利用の仕組みー東京都の島嶼を対象としたエコツーリズム
14:20	〈災害〉	
14:20	505 大邑潤三(佛教大・院)ほか：1927年北丹後地震による京丹後市域の被害分析	S0103 14:10～14:30 鈴木晃志郎(富山大)：世界遺産を通じてジオパークの未来を考える
14:40	506 植村善博(佛教大)ほか：1927年北丹後地震における京丹後市網野町網野区の被害要因と復興	S0104 14:30～14:50 新名阿津子(とっとり地域連携・総合研究センター)：山陰海岸ジオパークにおける地域振興と住民活動
15:00	507 増田 聡*(东北大)・村山良之(山形大)：ニュージラードにおける防災型土地利用規制の新展開ー斜面災害指針の提案	(第II部) 地域の自然の評価と保全 座長：岩田修二(立教大)
15:20	508 齋藤 仁(首都大・学振DC)ほか：2種類の降水イベントに基づいた斜面崩壊のリアルタイムモニタリングシステムの構築	S0105 15:00～15:20 小泉武栄(東京学芸大)：ジオパークと地域の自然再発見
15:40	509 竹内裕希子*・ショウ ラジブ(京都大)：台湾における気象災害を対象とした災害リスクコミュニケーション	S0106 15:30～15:50 富田啓介(名古屋大)：湧水湿地の特色とその保全活動ー愛知県を例に
16:00	510 高橋 誠*・田中重好(名古屋大)：インド洋大津波の被災経験に関する予察的分析	S0107 15:50～16:10 フンク カロリン(広島大)：ドイツ自然公園における観光とその新しい展開
16:20	511 海津正倫(奈良大)ほか：インドネシア共和国パントル平野の自然災害に対する脆弱性	(総合討論) 16:10～17:00 座長：菊地俊夫・岩田修二
16:40		終了時刻 17:00
17:00		

第1日目 10月2日（土） 午後

第 7 会 場	開始時刻
<p style="text-align: center;">地理教育公開講座 地理写真を活かした地理教育 -高校での体験から-</p> <p style="text-align: center;">原 眞一(元愛知県立高校教諭・ 現中部大学ほか非常勤講師)</p> <p style="text-align: center;">13:00~15:00</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p>
<p>〈地理教育〉</p> <p>701 坂上伸生(首都大)ほか：森林土壌から検出されるセノコッカム属菌核を用いた自然観察と科学体験プログラムの試み</p> <p>702 今井幸彦*(信州大・院)・権田与志道(長野市立広徳中)：防災教育カリキュラムの開発と公立中学校での実践-水害地域におけるフィールドワークの導入</p> <p>703 岩本廣美(奈良教育大)ほか：社会科地理的分野における単元「身近な地域」の実践状況-全国の中学校社会科教員対象のアンケート調査を通して</p>	<p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第2日目 10月3日 (日) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	シンポジウム S12 (公開) 21世紀の都市地理学の構築	
9:20	オーガナイザー：阿部和俊(愛知教育大)・西原 純(静岡大)・山崎 健(神戸大)・伊東 理(関西大)・伊藤健司(名城大)	〈農業・農村〉 213 後藤 卓(首都大・院)：農産物直売所における生産者と消費者の交流に基づく地域活性化とその持続性－静岡県磐田市「ふくの市」の事例
9:40	開始時刻 9:15 〈趣旨説明〉阿部和俊 座長：西原 純・山崎 健	214 飯塚 遼(首都大・院)：東京都練馬区におけるレクリエーション農業の発展とその地域への影響
10:00	S1201 9:20～9:40 伊藤健司(名城大)：産業立地研究からみた都市空間構造と都市地理学	215 中川恵理子(東京大・院)：日本におけるはくさいの地域間価格差とその変動
10:20	S1202 9:40～10:00 藤塚吉浩(高知大)：地区再生ダイナミクスと都市の内部構造－世界のジェントリフィケーションを考える	216 大竹伸郎(獨協大)：水田稲作農業地域の再編とJAの役割－JAいわて中央の取り組み
10:40	S1203 10:00～10:20 根田克彦(奈良教育大)：小売業の地理学と都市地理学	217 神田竜也(岡山大・研)：棚田荒廃後における集落組織主体の水田放牧－東広島市西条町福成寺を事例として
11:00	S1204 10:20～10:40 千葉昭彦(東北学院大)：都市地理学の位置付けと役割	218 植本琴美(高知工科大)ほか：森林資源の燃料化に対する山林所有者の意識モデルの構築
	S1205 10:40～11:00 藤井 正(鳥取大)：都市圏多核化研究とまちづくり	219 伊賀聖屋(金沢大)：大規模酒造業者と酒米生産者の提携関係におけるオルタナティブ性
11:20	S1206 11:00～11:20 富田和暁(大阪商大)：都市地理学の研究課題について	220 初沢敏生(福島大)：裂織の地域的存立基盤に関する一考察
11:40	〈コメント〉 11:20～11:30 由井義通(広島大) 〈質疑応答・小括〉 11:30～12:00	
	終了時刻 12:00	
12:00	昼 休 み	

第2日目 10月3日 (日) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
	〈気候〉	
	413 田中 誠二*(日本大・院)・加藤央之(日本大) : 秋季における東アジアの比湿の分布特性	9:00
	414 永野良紀*・加藤央之(日本大) : 東アジア地域における暖候期の上層高度場パターンの客観分類	9:20
	415 加藤央之(日本大)ほか : 東アジア地域における地上気圧分布パターンの客観分類(2)－パターンの連続性・移行特性	9:40
〈海外研究(南アジア)〉		
312 池谷和信(国立民族学博) : バングラデシュにおける家畜市と豚	416 今井裕一*(日本大・院)・加藤央之(日本大) : 東アジア地域における地上気圧分布パターンの客観分類(3)－暖候季のパターン	10:00
	〈自然保護〉	
313 山口哲由(京大・G-COE研究員) : インド・ラダック地方の村落における生業構造の変容－山地における人と環境の結びつきに関する考察	417 小野有五(北海道大) : 地理学と「自然保護問題」－サンルダム問題を事例として	10:20
314 渡辺和之(立命館大・非) : 現在に続くヒマラヤ交易－東ネパール, ソルクンブー郡からの試論	418 辻村千尋(日本自然保護協会) : 国立公園の自然保護問題と地理学の役割について－尾瀬国立公園と小笠原国立公園を事例に	10:40
〈海外研究(東南アジア)〉		
315 日野正輝*(東北大)・丹羽孝仁(東北大・院) : タイ北部における新規学卒者の進路先－チェーンマイ周辺を事例にして	419 小泉武栄(東京学芸大) : 瀬戸内海・上関の自然－山と海がつながる稀有な自然と原発計画	11:00
316 中辻 享(甲南大) : ラオス山地部における焼畑規模の村落差とその要因	420 中井達郎(国士館大・非) ほか : サンゴ礁保全において地理学が果たしてきた役割	11:20
317 杉江あい(名古屋大・院) : バングラデシュ農村部のローカル市場における「物乞い」の行動	421 浅野敏久*(広島大)・飯田知彦(広島クマタカ研究会) : 野鳥保護活動支援のためのエコツアーの評価と課題	11:40
		12:00
昼 休 み		

第2日目 10月3日 (日) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	(地形)	
9:00	512 松田倫明(首都大・院)：雲仙普賢岳における1990-95年噴火にともなう水無川流域の地形変化	
9:20	513 小元久仁夫(日本大)ほか：宮古島東平安名岬西方、太陽泉(ティダガー)で確認された石灰華段の形成年代	
9:40	514 林崎 涼*(首都大・院)・白井正明(首都大)：長石のOSL強度から求められる露光率を用いた砂粒子の運搬過程の解明－新潟県海岸部を例として	
10:00	515 笠原天生(首都大・院)ほか：相模川支流沢井川にみられる二つの埋没谷と葛原層相当層	(歴史・文化) 601 渡邊佳奈絵(立命館大・院)：芋環型蛇簾入伝承の変化の過程における住民の環境知覚変化と景観変化について－福島県いわき市好間町の蛇岸淵伝承を事例に
10:20	516 佐藤善輝(九州大・院)ほか：浜名湖西岸・湖西市新所地区の沖積低地における完新世中期以降の環境変遷	602 小田匡保(駒澤大)：新潟県における寺社の分布－「新潟県の宗教空間」再考
10:40	517 船引彩子(産総研)ほか：ベトナム北部、紅河デルタ平野における完新世中期の自然堤防と放棄河道	603 目崎茂和(南山大)：記紀神話にみる大八嶋国の地理風水
11:00	518 松多信尚(名古屋大)ほか：台湾東部沿岸の津波の可能性－阿美族の伝承と成功地域のジオスライサー調査	604 川本博之(日本建築学会)：三都（藤原京，平城京，平安京）と三天下城（安土城，大阪城，江戸城）
11:20	519 金 幸隆(東京大)ほか：三浦半島南部，小網代湾の津波堆積物調査から推定された過去三回の関東地震－元禄関東地震の一つ前の関東地震について	605 米家志乃布(法政大)：20世紀前半のシベリア・ロシア極東における植民都市と地図作製
11:40	520 中田 高(広島大学名誉教授)ほか：詳細DEM画像から探る南海トラフの海底地形	606 板倉悠里子(立命館大・院)：作家の経験と場所のイメージの関連性－文学作品に現れた京都
12:00	昼 休 み	

第2日目 10月3日(日) 午前

第 7 会 場		開始時刻
<p>シンポジウム S11 (公開) 大学地理教育における標準カリキュラム と学士力ー現状とあるべき姿ー 共催 日本学術会議地理教育分科会 オーガナイザー：岡本耕平(名古屋大)・海津正倫(奈良大)・小田宏信(成蹊大)・高橋眞一(新潟産業大)・戸所 隆(高崎経済大)・山下博樹(鳥取大) 開始時刻 9:00</p> <p>S1101 〈趣旨説明〉 9:00~9:10 岡本耕平(名古屋大)ほか：大学地理教育における標準カリキュラムと学士力ー現状とあるべき姿</p> <p>S1102 9:10~9:30 友澤和夫(広島大)：広島大学文学部の地理教育</p> <p>S1103 9:30~9:50 高橋春成(奈良大)：奈良大学文学部の地理教育</p> <p>S1104 9:50~10:10 長谷川 均(国士館大)：国士館大学文学部の地理教育</p> <p>S1105 10:10~10:30 石丸哲史(福岡教育大)：福岡教育大学の地理教育</p> <p>S1106 10:30~10:50 富樫幸一(岐阜大)：岐阜大学地域科学部の地理教育</p> <p>S1107 10:50~11:10 高橋重雄(青山学院大)：青山学院大学経済学部の地理教育</p> <p>〈コメント〉 11:10~11:20 志村 喬(上越教育大) 〈総合討論〉 11:20~12:00 司会：戸所 隆</p> <p>終了時刻 12:00</p>		<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p>
<p>昼 休 み</p>		<p>12:00</p>

第2日目 10月3日（日） 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	<p>シンポジウム S13（公開）</p> <p>都市地理学の新しい地平</p> <p>オーガナイザー：神谷浩夫(金沢大)・川口太郎(明治大)・若林芳樹(首都大)・由井義通(広島大)</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p>〈趣旨説明〉 神谷浩夫</p> <p style="text-align: right;">司会：若林芳樹・神谷浩夫</p>	<p>シンポジウム S14（公開）</p> <p>GISをめぐる近年の研究動向</p> <p>共催 地理情報システム学会中部支部</p> <p>オーガナイザー：奥貫圭一(名古屋大)</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p>〈趣旨説明〉 奥貫圭一</p>
	<p>S1301 13:05～13:25</p> <p>土屋 純(宮城学院女子大)：都市研究における消費への着目と流通システム研究の再構築－化粧品という「商品」に注目して</p>	<p>〈第 I 部〉 地理情報科学の基礎理論と応用 (13:10～14:10)</p> <p>S1401 倉田陽平(首都大)：旅行者行動支援におけるGISの応用可能性</p>
	<p>S1302 13:25～13:45</p> <p>久木元美琴(東京大・学術研究員)：〈子育て〉と都市空間－保育をめぐる地理学的視座の検討</p>	<p>S1402 中谷友樹(立命館大)：日本における中皮腫死亡の地理学的解析－空間疫学における空間データ解析と地理的視覚化</p>
	<p>S1303 13:45～14:05</p> <p>半澤誠司(明治学院大)：都市の創造性をどう考えるか</p>	<p>S1403 貞広幸雄(東京大)：領域間空間関係の分析－手法の提案と地域イメージ解析への適用</p> <p>S1404 石川 徹(東京大)：空間・情報・人間をつなぐ学問としての地理情報科学</p>
	<p>S1304 14:05～14:25</p> <p>久保倫子(筑波大・学振DC)：住まいから都市をみる－都市地理学における住宅研究の可能性</p>	<p>〈第 II 部〉 GISと社会, 教育(14:20～15:20)</p> <p>S1405 大西宏治(富山大)：工業高校でのGISを活用した授業実践－富山西高校の事例</p>
	<p>S1305 14:25～14:45</p> <p>佐藤英人(帝京大)：オフィス立地研究の展開と都市地理学との関連性</p>	<p>S1406 奥貫圭一(名古屋大)ほか：ネットワーク空間分析ソフトウェアの開発研究</p> <p>S1407 西村雄一郎(奈良女子大)：クリティカルGISと日本の『空間情報社会』</p>
	<p>S1306 14:45～15:05</p> <p>武者忠彦(信州大)：都市のデザインをめぐる問題</p>	<p>S1408 森 亮(OSGeo財団日本支部)：オープンソースGISの紹介</p> <p>[紹介] 古橋大地(東京大)：ネオジオグラファーによるオープンストリートマップの発展状況 (15:20～15:35)</p>
	<p>S1307 15:05～15:25</p> <p>中澤高志(明治大)：郊外第二世代の東京圏研究序説－第二次ベビーブーム世代を例に</p>	<p>〈第 III 部〉 歴史GIS (15:45～16:30)</p> <p>S1409 平井松午(徳島大)：家譜史料データベースを活用した城下町のGIS分析－徳島藩洲本城下町を例に</p>
	<p>〈午前の部からのコメント〉 15:25～15:35</p> <p>〈コメントへの回答〉 15:35～15:45</p> <p>〈フロアとの質疑応答〉 15:45～15:55</p> <p>〈小括〉 15:55～16:00 若林芳樹・神谷浩夫</p>	<p>S1410 塚本章宏(立命館大・学振PD)：ハーバード大学地理解析センターにおける歴史GISプロジェクト</p> <p>S1411 川口 洋(帝塚山大)：日本におけるHistorical GISの研究動向と課題</p>
	<p>〈総合討論〉 16:00～16:50</p> <p>〈総括〉 16:50～17:00</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 17:00</p>	<p>〈総括〉 16:30～17:00 村山祐司(筑波大)</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 17:00</p>

第2日目 10月3日(日) 午後

第3会場	第4会場	開始時刻
<p style="text-align: center;">シンポジウム S15 (公開)</p> <p style="text-align: center;">変容する生業社会の人口とライフコース</p> <p style="text-align: center;">ネイチャー・アンド・ソサエティ研究グループ</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>〈趣旨説明〉 佐藤廉也(九州大)</p> <p style="text-align: right;">座長：吉田国光(筑波大・学振DC)</p> <p>S1501 13:05～13:25 佐藤廉也(九州大)：エチオピア焼畑社会の出生力変化とその要因</p> <p>S1502 13:25～13:45 中澤 浩(群馬大)：ソロモン諸島の農耕社会における高出生力とその変化</p> <p>S1503 13:45～14:05 口蔵幸雄(岐阜大)：半島マレーシアの狩猟採集社会における定住の強化に伴う人口と女性のフォレンジングの変化</p> <p style="text-align: right;">座長：佐藤廉也</p> <p>S1504 14:05～14:25 高橋眞一(新潟産業大)：ラオスの自給的水田農村の出生力低下</p> <p>S1505 14:25～14:45 中川聡史(神戸大)：ラオス中部農村からタイへの国際人口移動</p> <p>S1506 14:45～15:05 溝口常俊(名古屋大)：ネパール山岳地域住民の外出行動—ポーターから海外出稼ぎへ</p> <p style="text-align: right;">座長：池口明子(横浜国立大)</p> <p>〈コメント〉 15:15～15:45 山内昌和(社会保障・人口問題研究所) 横山 智(名古屋大)</p> <p>〈総合討論〉 15:45～16:30</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:30</p>	<p style="text-align: center;">シンポジウム S16 (公開)</p> <p style="text-align: center;">生物多様性と実践的環境地理教育</p> <p>オーガナイザー：朴恵淑・宮岡邦任・金玆辰(三重大)・森永由紀(明治大)・犬井 正(獨協大)・梅村松秀(ERIC)・谷口智雅(立正大・非)</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>S1601 〈趣旨説明〉 13:00～13:10 朴恵淑：生物多様性と実践的環境地理教育 〈第1部〉生物多様性と環境地理教育(基調講演) (13:10～13:40/座長：井田仁康(筑波大))</p> <p>S1602 市原信男(環境省中部地方環境事務所)：愛知・名古屋生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の意義と課題</p> <p>S1603 秋道智彌(総合地球環境学研)：生物資源と生物多様性—有用性と有害性の関係価値を超えて</p> <p>〈第2部〉各国における生物多様性 (13:40～14:40/座長：梅村松秀)</p> <p>S1604 森永由紀(明治大)：モンゴルの環境問題</p> <p>S1605 金玆辰(三重大)：韓国における生物多様性国家戦略と生物多様性教育</p> <p>S1606 谷口智雅(立正大・非)：アジアの大都市における生物多様性</p> <p>S1607 宮岡邦任(三重大)：ブラジル・パンタナールにおける人間活動が水文環境および生態系に与える影響</p> <p>〈第3部〉実践的環境地理教育における生物多様性/保全活動(14:50～15:55/座長：谷口智雅)</p> <p>S1608 梅村松秀(ERIC)：ESDと生物多様性との関わり—地理教育における'生物多様性'を考えるために</p> <p>S1609 新玉拓也(魚と子どものネットワーク)：小学生を対象とした実践的環境教育—亀山市における実践的環境教育を事例に</p> <p>S1610 泉 貴久(専修大松戸高)：中等地理教育における生物多様性の実践—「熱帯林開発の是非」をテーマにした高校地理Aの授業実践プラン</p> <p>S1611 中村佳貴(三重大学かめつぷり)：大学環境サークルによる生物多様性の調査—三重大学ウミガメ・スナメリ調査保全サークルかめつぷり活動報告</p> <p>S1612 伊藤朋江(三重大学COP10学生実行委員会)：三重大学COP10学生実行委員会の活動—生物多様性の保全と人材の育成を目指して</p> <p>〈第4部〉総合討論(15:55～17:00/座長：朴恵淑) コメント(15:55～16:25) 吉野正敏(筑波大名誉教授)・犬井正・井田仁康</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 17:00</p>	

第2日目 10月3日(日) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	<p style="text-align: center;">シンポジウム S17 (公開)</p> <p>ラムサール条約登録湿地としての琵琶湖 —その環境的特性と保全のあり方を中心に—</p> <p>オーガナイザー：秋山道雄(滋賀県立大)・吉越昭久(立命館大)</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>〈開会挨拶・趣旨説明〉 13:00～13:10 秋山道雄</p> <p>座長：東 善弘(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)</p> <p>S1701 13:10～13:30 小林聡史(釧路公立大)：ラムサール条約における湿地保全の取り組み</p> <p>S1702 13:30～13:50 長谷川直子(お茶の水女子大)ほか：近年の気候変動による琵琶湖湖水への影響と将来課題</p> <p>S1703 13:50～14:10 辰巳 勝*(近畿大)・東 善弘(琵琶湖環境科学研究センター)：琵琶湖湖岸の地形変遷から生態系保全を考える</p> <p>S1704 14:10～14:30 西野麻知子(琵琶湖環境科学研究センター)：生物多様性からみた湿地としての琵琶湖</p> <p>S1705 14:40～15:00 香川雄一(滋賀県立大)：ラムサール条約登録湿地としての琵琶湖の沿岸における漁業者の現在</p> <p>S1706 15:00～15:20 横山秀司(九州産業大)：琵琶湖岸域の景観変化と景観保全に関する景観生態学的考察</p> <p>S1707 15:20～15:40 秋山道雄*(滋賀県立大)・吉越昭久(立命館大)：琵琶湖集水域における水管理の課題—湿地の保全と賢明な利用をめぐって</p> <p>〈コメント〉 15:40～16:10 須川 恒(龍谷大)・浜端悦治(滋賀県立大)</p> <p>〈総合討論〉 16:20～17:00 (司会：吉越昭久)</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 17:00</p>	<p style="text-align: center;">シンポジウム S18 (公開)</p> <p>アジアにおける近代初期の 地理資料発掘・利用による環境変化研究</p> <p>オーガナイザー：松本 淳(首都大)・小林 茂(大阪大)</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>S1801 〈趣旨説明〉 13:00～13:10 松本 淳(首都大)・小林 茂*(大阪大)：アジアにおける近代初期の地理資料発掘・利用による環境変化研究</p> <p style="text-align: right;">座長：松本 淳</p> <p>S1802 13:10～13:30 小林 茂(大阪大)ほか：外邦図を利用したアジア太平洋地域の景観変化研究の可能性</p> <p>S1803 13:30～13:50 スリ スマンティヨ・バユアジルフル*(千葉大)ほか：長期間環境空間情報データベースの構築</p> <p>S1804 13:50～14:10 山本 晴彦(山口大)：日本および中国における気象観測記録のデータベース化と気候変動解析</p> <p style="text-align: right;">座長：小林 茂</p> <p>S1805 14:10～14:30 松本 淳(首都大)ほか：アジアにおける気候資料のデータレスキューとモンスーンの長期変化</p> <p>S1806 14:30～14:50 久保田尚之(JAMSTEC)ほか：20世紀を通じた西部北太平洋域の台風経路の復元</p> <p>S1807 14:50～15:10 財城真寿美(成蹊大)ほか：19世紀の東南・東アジアにおける気象観測記録の「データレスキュー」</p> <p>〈コメント〉 15:10～15:30 黒木貴一(福岡教育大)・藤部文昭(気象研)</p> <p>〈総合討論〉 15:30～16:00 座長：小林 茂・松本 淳</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:00</p>

第2日目 10月3日(日) 午後

第7会場	開始時刻
<p>シンポジウム S19 (公開) 多主体連携による 水辺域の環境活動の展開 共催 日本学術会議IHDP分科会 オーガナイザー：山本佳世子(電気通信大)</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p>〈趣旨説明〉 13:00～13:10 山本佳世子</p> <p>S1901 13:10～13:30 磯部 作(日本福祉大)：沿岸域の環境保全と再生のための多主体連携－海底ゴミ問題を中心として</p> <p>S1902 13:30～13:50 山室真澄*(東京大)・石飛 裕(自然と人間環境研究機構)：堤防撤去と開削を巡る自然科学の議論－中海本庄水域の事例</p> <p>S1903 13:50～14:10 沼澤 篤(霞ヶ浦市民協会)：霞ヶ浦，平野部に位置する広く浅い湖沼の開発に対する科学的評価</p> <p>S1904 14:10～14:30 作野広和(島根大)：河川上流域における地域づくりと多主体連携の構築</p> <p>S1905 14:30～14:50 伊藤達也(法政大)：論争の続く長良川河口堰問題</p> <p>S1906 14:50～15:10 山本佳世子(電気通信大)：サンフランシスコ・ミッションベイ地区における多主体連携活動</p> <p>〈コメント〉 15:20～15:50 岡本耕平(名古屋大)・平井幸弘(駒澤大)・一ノ瀬俊明(国立環境研)</p> <p>〈総合討論〉 15:50～16:50 司会：和泉 潤(名古屋産業大)</p> <p>〈総括〉 16:50～17:00 碓井照子(奈良大)</p> <p>終了時刻 17:00</p>	<p>開始時刻</p>

第1・2日目 10月2・3日(土・日)

第8会場

ポスター発表

ポスター発表は、10月2日(土)13時~17時30分までと10月3日(日)9時~15時まで、第8会場と第9会場で行います。発表者による説明は、10月2日(土)17時~17時30分もしくは10月3日(日)12時~12時30分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | | | |
|------|--|------|--|
| P801 | 田上善夫(富山大)：日本列島における異常昇温と異常降温の発生について | P811 | 松本真弓*(三重大・院)・春山成子(三重大)：最近60年間の、イラワジ川の蛇行変遷 |
| P802 | 森本洋一*(法政大・学)・小寺浩二(法政大)：魚野川流域における積雪深と積雪の水質について | P812 | 東郷正美(法政大)ほか：“ガダラ”は本当に749年バレスティナ大地震で壊滅したか？ |
| P803 | 咏梅*(東北大・院)・境田清隆(東北大)：内モンゴル自治区シリンドル草原における近年の植生量変化とその要因について | P813 | 村中亮夫(立命館大)ほか：安全安心マップ作成のワークショップが地域の環境改善に与える影響—マップに記載された危険箇所データをを用いた分析 |
| P804 | 森永由紀(明治大)ほか：2009/2010年冬の大規模なゾドを引き起こした牧畜気象学的条件 | | |
| P805 | 田力正好(地震予知総合研究振興会)ほか：郡山盆地西縁、二本松~白河付近の変動地形 | | |
| P806 | 杉戸信彦(名古屋大)ほか：糸静線活断層帯中南部、富士見町御射山神戸における、横ずれ変位に伴ったテクトニックバルジの形成・進化 | | |
| P807 | 渡辺満久(東洋大)ほか：詳細DEM画像から探る相模トラフ・駿河トラフの海底地形 | | |
| P808 | 鈴木康弘(名古屋大)ほか：詳細DEM画像から探る紀伊半島沖の海底地形 | | |
| P809 | 後藤秀昭(広島大)ほか：詳細DEM画像から探る四国沖の海底地形 | | |
| P810 | 吉田英嗣(関東学院大)：1888年の山体崩壊による磐梯火山の崩壊量に関する検討 | | |

第1・2日目 10月2・3日(土・日)

第9会場

ポスター発表

ポスター発表は、10月2日(土)13時～17時30分までと10月3日(日)9時～15時まで、第8会場と第9会場で行います。発表者による説明は、10月2日(土)17時～17時30分もしくは10月3日(日)12時～12時30分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P901	黒木貴一(福岡教育大)ほか：旧版地形図情報をGIS化する際の課題－福岡市史の場合	P911	作野広和(島根大)：広島市における戸建て住宅団地の高齢化
P902	黒田圭介(西南学院大・非)ほか：二時期合成空中写真を用いた土地被覆分類の試み	P912	吉田国光*(筑波大・学振DC)・杉野弘明(筑波大・院)：近現代における小規模・零細経営による味噌・醤油醸造業の地域的展開－長野県須坂市を事例として
P903	垂澤悠史(三重大)ほか：文化的景観としての流域－新宮川流域での試み	P913	林 琢也(岐阜大)：長野盆地におけるアグリツーリズムの変容－アップルライン(国道18号)を事例に
P904	堤 純*(愛媛大)・松井圭介(筑波大)：シドニーおよびメルボルン大都市圏における社会特性		
P905	有馬貴之(首都大・学振DC)：オーストラリア、フレーザー島におけるトラック荒廃の空間特性		
P906	香川雄一*・相井勇人(滋賀県立大)：駅周辺におけるポイ捨て状況からみた条例の効力と防止策の検討		
P907	山田周二(大阪教育大)：大阪府における自動販売機と地藏堂の分布－身近な地域調査の対象として学習効果が高い地域とそうでない地域		
P908	野中健一*(立教大)・柳原 望(漫画家)：時空・環境・感情－地理学的課題を伝えるための漫画・イラスト表現の可能性		
P909	村山良之*(山形大)・梅山 浩(パスコ)：日本の都市はどんな地形に展開しているのか		
P910	伊藤慎悟(駒澤大)：名古屋都市圏における戸建住宅団地の人口構成		

